



人間は、神の誠、仏の慈悲を身に受けて生きていくための生命である。(ご聖訓第六巻68頁)

細心の注意をはらう中で第81回 三聖地巡拝

2年ぶりの団体参拝を喜びの完遂

第81回三聖地巡拝が4月1日から3日に挙行され、大型バス11台に分乗した全国の会員代表222名が、尊者のご精神を体し五色人種を代表して世界平和と日本の繁栄を祈願した。今回は新型コロナウイルス感染防止のため、参加人数の制限、開催2週間前から当日迄の体温と体調の記録を本部へ提出、常にマスク着用、行程の変更など徹底された。



宇治橋を渡り、正宮に向けて力強く参進する1号車の本部役員（伊勢神宮・内宮）

昨年はコロナ禍を留意して本部役員のみでの巡拝行となったが、今回は参加者一人ひとりが新型コロナウイルス感染防止を自覚して、細心の注意を払い緊張感を持って臨んだ。その一方、2年ぶりとなった全国から参加した会員による団体参拝に、各地で喜びの笑顔が多く見られた。

1日は伊勢神宮・外宮を参拝。三密を避けるために結団式などは中止され、岡野理事長をはじめ本部役員ら第1班は、神宮の特別誘導参拝の栄を賜り参進。外宮御正宮にて御垣内参拝の後、奉拝の儀を行った。続いて、各班が参拝した。

翌2日は、まず伊勢神宮・内宮を参拝。神宮の特別誘導参拝の栄を賜り宇治橋を渡り参進し、内宮御正宮にて御垣内参拝に続いて奉拝の儀となった。正宮参拝の後、特別大々神楽を奉納、神楽殿には密を避けて本部役員のみが昇殿した。神楽奉納後、巡拝団は榎原神宮へ向かった。

榎原神宮では、本部役員らは神職の

誘導を頂き、南神門にて手水を取った後、神職の先導により内拝殿に参進。修祓、岡野理事長による玉串奉奠、拝礼行事を行った。続いて、今回は特別に神武天皇陵を参拝した。

3日は、まず朝8時半に御寺泉涌寺・仏殿前にて今回初めて参加者全員が一堂に会しての朝礼が行われた。ご本尊に礼拝、岡野理事長が挨拶を述べた後、月輪御陵へ。御陵奉拝の儀の後、霊明殿へ進み、皇祖皇霊に感謝の祈りを捧げた後、岡野理事長による表白文奏上、焼香、参加者全員で勤行を捧げた。

続いて、御寺泉涌寺の上村貞郎長老猊下が挨拶に立たれ、その中で次のように述べられた。

「昨今ではコロナ戦争との言葉もあるようですが、不平や不足を想わずに工夫しながら収束まで生きていけたなら素晴らしいと思います。皆さんは素晴らしい解脱金剛さまの教えを守っていただいて、御寺泉涌寺、そして霊明殿に向かって手を合わせていただけたなら

きつといいことが参ります」

終了後、巡拝団一行は隊列を組んで勇壮に進み、途中、日の丸の小旗を振る関西の会員たちに見送られながら金剛宝塔前に到着すると、金剛さまへ三聖地巡拝の無事完遂を報告した。

挨拶に立った岡野理事長は「異例づくしとなった今回、帰られた際は地元の会員へ御礼と共に各聖地でお迎えくださった皆様の熱い思いを伝えていただき、来年は大勢の参加を頂きましょう」と述べた。

最後に、三回忌となる岡野聖法長老さまの祥月命日供養を厳修。その後、法縁の寺である醍醐寺へ向かった。

醍醐寺では、三宝院の弥勒堂に案内された本部役員たちが岡野理事長の先達で真心からの法要を行った後、金堂内にて醍醐寺の僧侶が今般の国難を無事に乗り越えられるよう祈願する五大力尊仁王会の法要を力強く営み、喜びの中で三聖地巡拝の全行程が終了した。(2面に写真)

写真で見る三聖地巡拝



清々しい神気に浸り、国恩感謝の祈りを捧げる (伊勢神宮・外宮)



正宮の階段を参進する本部役員 (伊勢神宮・内宮)



バス11号車会員が整然と参進する (伊勢神宮・内宮)



手水を取る岡野団長 (檀原神宮)



神武天皇に感謝の祈りを込め、勤行 (檀原神宮)



神武天皇の御聖徳を尊ぶ (神武天皇陵)



岡野団長よりご挨拶を頂く (御寺泉涌寺・仏殿)



御歴代天皇を偲び、奉拝 (御寺泉涌寺・月輪御陵)



上村長老祝下より心温まるご挨拶を頂く (御寺泉涌寺・霊明殿)



金剛さまに三聖地巡拝の完遂をご奉告 (解脱金剛宝塔)



関西圏域の会員有志が巡拝団を迎える (御寺泉涌寺)



金堂内にて、法要が力強く厳修された (醍醐寺)

第143回米国解脱教会春季大祭

大自然の働きに深い感謝を

すっきりとした青空の下、サクラメントの米国御霊地にて第143回春季大祭の奉告祭が4月10日、第一部式典が11日に執り行われた。カリフォルニア州では高齢者を中心にすでに多くの方に新型コロナワクチンの接種が進んでおり、一堂に会しての通常開催も検討されたが、様々なリスクを考慮し、リモート開催となった。

10日の奉告祭では、ジャクソン・伊藤、デーブ・イデ両理事、岡野尚也米国開教師、ミカ・ロドリゲス準開教師の4名によって、厳しい状況にありながらも春季大祭を無事に開催できることの感謝の祈りが捧げられた。

11日の大祭式典当日は、午前9時30分よりYoutubeによるライブ放送も行われる中、拝礼行事、み声拝聴、萬霊大供養の後、事前に録画された岡野英夫総長の記念講話を放送した。岡野総長は講話の中で、今こそが金剛さまの申された「世の変革の様な非常重大の時機」であり、現在の大きな社会変革の潮流は私たちの霊性の浄化と魂の覚醒を求めていると会員のさらなる自己改革を促した。

その後、ジャクソン・伊藤氏が医療従事者や、ワクチン開発に懸命に取り組んでいる方々など、コロナウイルス感染症の対応にあたられているすべての方々は



もちろん、ワクチンの開発・生産に欠かせない大自然の働きにも深い感謝の意を表し、「こういったリモートによる大祭が今回が最後になることを望む。そのためにもワクチンの接種をきちんと行い、日々、祈りとご供養を捧げていきましょう」と述べた。

尚、柴燈護摩の儀は、5月上旬頃行う予定。また、当日の祭典の様子や岡野総長の講話はYoutubeにて視聴が可能となっている。

第2経蔵・大日如来像祭祀式

大日如来像 第2経蔵へ

4月14日、御霊地・天神地祇太神社殿並びに第2経蔵にて大日如来像祭祀式が執り行われた。

朝方からの小雨があがる中、岡野英夫理事長をはじめ解脱会本部相談役、常任

理事、関係局長らの参列のもと、厳粛に祭祀式が執り行われ、解脱金剛宝物館の北側の奥に位置する、解脱金剛記念館に並び



建つ第2経蔵内に、大日如来像が安置された。

関西圏域・御寺泉涌寺清掃奉仕

真心からの清掃奉仕



関西圏域では4月2日、新型コロナウイルス感染防止のための人数制限により、三聖地巡拝に参加出来なかった有志54名

による御寺泉涌寺境内地並びに解脱金剛宝塔周辺の清掃奉仕が行われた。

金剛さまのご精神である、「泉山を護持し奉る」の精神に近づけるように、また翌日、当地を代表参拝する全員が気持ちよく参拝できるようにと心を込めて、関西圏域会員有志は泉山各所を掃き清めた。

当日は、心地良い春の晴天の中、解脱金剛宝塔前で清掃の挨拶を行い、柴田正美関西道場長の挨拶の後、各教区、それぞれに割り当てられた場所を清掃した。

終了後は、綺麗な零れ桜を愛でながらお供物の花見餅を各自持ち帰った。

第8回関東大震災・東京大空襲戦災犠牲者供養

惨事を後世に語り継ぐ

4月15日、東京都慰霊堂（東京都墨田区）にて第8回関東大震災・東京大空襲犠牲者供養の集いが行われた。



慰霊堂には、関東大震災犠牲者（5万8千余名）並びに東京大空襲犠牲者（10万5千余名）の遺骨が安置されている。

当行事は、大震災と空襲の惨事を忘れず後世に語り継ぐと共に真心の供養を捧げることが主旨に、2年に1度首都圏教区合同で開催している。

当日は、新型コロナウイルス感染症対策として、検温、手指の消毒などを施し、30名に人数制限をして行われた。

午前10時開式。一同礼拝、献納の儀、焼香に続いて、廣川貞雄首都圏協議会代表が諷誦の文を奏上。最後に般若心経3巻と共に、真心からの天茶供養が捧げられた。

解脱錬心館49周年記念

創立50周年に向けて

解脱錬心館では3月14日、創立49周年記念館内大会を行った。大会は昨年と同様に新型コロナウイルス感染症対策のため、内容を縮小して開催となった。

午前9時に開会。国歌斉唱、拝礼行事、物故者追悼と進み、田中宏明館長（御霊地局長）は式辞の中で、「今回のコロナ禍の中、剣道をできることに感謝することを心に刻み、これまで錬心館で学んだことを生かし、創立50周年に向けて一生懸命に頑張してほしい」と激励した。

続いて、特別表彰では、少年門下生卒業表彰と「第43回日本剣道少年団研修会体験実践発表会」の中学生の部で最優秀賞（全国第一位）を受賞した、田中詩織さんが表彰された。

田中さんは「小さい時から剣道、解脱が大好きで、田中館長の教を自分なり

に受け止めてきた事を作文にし、賞を頂くことができました。今年から高校生となり今まで以上に頑張っており、今度は試合で日本を目指します」と語ってくれた。

その後、少年部門大将交代式、少年門下生卒業生挨拶、保護者より謝辞を頂き、今年度の卒業生は鍛錬を重ねた錬心館を巣立っていった。

また同日、長野で開催された「第68回全日本剣道選手権大会」にOBの泉和毅氏が埼玉県代表として出場。同大会では解脱錬心館出身門下生初の選手権大会となった。

泉氏は「全日本選手権大会に出場させていただき、本大会で上位入賞はできませんでしたが、今回の経験を活かしてい



卒業してさらなる高みを目指す



特別表彰された田中詩織さん 埼玉県代表となった泉和毅さん

きたい、私の原点は解脱錬心館です。今後も感謝の気持ちを忘れずに精進していきます」と更なる向上を誓った。

東京第1教区・天茶まつり

英霊に感謝の祈りを捧げる



3月28日、東京第1教区では毎年恒例となる天茶まつり（第58回靖国神社参拝及び千鳥ヶ淵戦没者慰霊祭）を行った。

当日は、新型コロナウイルス感染症対策のため

内容を縮小し、人数制限を設けての開催となった。

午前10時から靖国神社拜殿前行事が行われた。高橋智也教区担任部長が英霊に捧げる言葉を読み上げると、居合わせた参拝者から「とても感銘を受けた」との声が聞かれた。最後に、松本聖吾靖国神社禰宜より挨拶を賜った後、千鳥ヶ淵戦没者墓苑へ移動。墓苑六角堂前での行事が開始されてまもなく、英霊が喜んでいるかのように大粒の雨が降り出した。献花、献茶、献納の儀へと進み、内藤憲一教区長の諷誦文奏上の後、般若心経三巻を念唱しながら供養塔を通して天茶供養と墓苑周辺の撒き供養を行った。その後、山崎文夫墓苑奉仕会理事長、廣川貞雄相談役からご挨拶があり、最後に廣川剛秀実行委員長から天茶まつりが開催できたお礼の挨拶をもって終了となった。

東京第6教区・彰義隊並びに上野戦争犠牲者怨親平等供養

彰義隊へ怨親平等供養



東京第6教区は、3月28日午前10時30分より東京・上野公園彰義隊墓所において彰義隊並びに上野戦争犠牲者の怨親平等供養を行った。

昨年は、緊急事態宣言の発令により中止したが、今年は感染対策に万全を施しながらの開催となった。今年で54回目の歴史を持つ当行事は、東京都上野公園事務所にも認知されており、温かい理解と後押しを頂いている。

当日は、参加者を40名に制限し、受付にて検温・手指の消毒、1メートル間隔で整列を徹底。加藤英昭教区長は開会挨拶で「怨親平等供養させていただく心の在り方など真心を伝えていけるよう日常の行動を大切にしましょう」と述べた。怨親平等供養では、彰義隊墓所において彰義隊殉難烈士と戦争犠牲者へ天茶の撒き供養を真心で行った。閉会挨拶の後は御焼香を行った。

当日、公園に訪れた一般の方から質問を受け、彰義隊の説明と怨親平等供養の大切さを伝える場面も見受けられた。

中野支部・五柱五成神社

初午祭を斎行

東京第3教区・中野支部の御守護神でもある五柱五成神社の初午祭が、3月14日午前11時より行われた。

毎年恒例の当神社の初午祭は、「五柱さんの初午祭」として地元住民から大変親しまれ、地域社会を代表する大切なお

祭りとなっている。

当日は、コロナ禍で感染拡大の状況を鑑み祭典は行わず、地元氷川神社宮司により、稲子知義五柱五成神社斎主をはじめ、廣川貞雄五柱五成神社奉賛会長、稲子喜之中野支部長、石井好正教区長、地元町会長や区議会議員など神社関係者や地元名士を中心に厳かに神事のみ昨年同様に斎行された。

参加者及び地元住民からは「来年の初



午祭は、新型コロナウイルス感染も終息し、これまで通りの盛大な初午祭の開催を願う」という声が多く寄せられていた。

解脱金剛奉賛会 創立50周年企画 奉賛会体験

被災後の不思議なお運び

釜石大町支部 佐々木洋子



私は、東日本大震災の前年10月まで神奈川県川崎区茅ヶ崎共恵町支部で学んでいました。当時は奉賛会に入会されている方は立派だと思っただけで、借金返済に苦慮していた私は、多くの先生が「お金に困ったら奉賛会に入りなさい」と申される重要さに気づいていませんでした。

そして借金を返済し、2人の子供も社会人となり、ようやく一息つけると思った矢先、夫が癌により56歳で旅立ってしまいました。それから5年程して気持ちが落ち着いたら頃、奉賛会を思い出し、さらに多くの人のお蔭で幸せに生活させていただいて

いることに気づき、奉賛会に入会したのです。平成22年、母の介護で釜石に帰郷しました。高台にある実家は、昔から「ここまで津波が来たら村はおしまいだ」と聞かされており、あの大地震の中でのんびりしていました。しかし二階屋根に達する大津波に襲われました、それは夢を見ているような光景でした。

7月に入り、やっと仮設住宅に入ることができましたが、病院にも買い物にも行く時は車が必要でした。そんな時、解脱会ならびに奉賛会より会員様の真心の支援金を頂くお運びがあり、それは軽自動車を購入できる金額でした。その節は、大変お世話様になり心より御礼申し上げます。皆様の善意と真心が結集

しているこの車を人様のためにも使おうと願い、現在も皆様の足として働いてくれております。

さらに、主人の実家が私の村から近い場所にあります。本家のお墓の後方に古い墓石が野積みになり気になっていたところ、保険の書き換えで墓石を整理するお金が出来、しかも、残ったお金で私の村の津波記念碑建立の寄付もできました。

現在では、お金は必要な時に必要な分が回ってくる、奉賛会はまさに天に貯金することと実感しています。

釜石大町支部長の口グセは「喜べば喜び事が喜んで喜び集めて喜びに来る」、まさに「感謝すれば感謝が感謝して来る」と、本当にその通りです。これからも解脱の道に精進し、奉賛会に入会した有り難い体験を1人でも多くお伝えして参ります。